

04 春闘推進ニュース

全労連ニュース速報

NO.785

2004/05/18

全国労働組合総連合

TEL:03-5842-5611

FAX:03-5842-5620

許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法

19日の国会座り込み行動とイラク特別委員会傍聴行動

- ◆ 武力攻撃事態等への対処に関する特別委員会の傍聴について

11:00～15:00 午前については傍聴行動をとりません。

傍聴希望者は、12:30 衆議院議面に集合
安保の事務局が待機します。

赤嶺議員の質問時間は、14:35～14:50 です。

15:00 終了後に採決を与党はねらっている。

座り込み終了時間を早めて、衆議院議面で待機し、採決後に抗議集会を開催する。

- ◆ 国会座り込み行動 12:00～15:00 参議院議員会館前

20日の参議院厚生労働委員会の予定 9:30、12:30 議面に集合

午前 10:00～11:54 18日の残り時間1時間54分の質疑を行なう。(小池議員28分)

この時間に先立って、厚生労働副大臣から発言あり。

午後からの時間については、与党は4時間コースを要請してきたが、野党は持ち帰る。

19日の理事会・理事懇談会で再び協議する。

18日の参議院厚生労働委員会傍聴報告 10:00～17:00

5月18日参議院厚生労働委員会は、小泉首相に対する質疑をふくめて、年金改革法案の審議をおこないました。10:00～12:00 までの午前中には、厚生労働副大臣の保険料未納問題で質疑が中断した。(1時間54分)

午後からの質疑は、13:00～16:00の3時間を首相出席で質疑が行なわれた。

質疑の中で小泉首相の年金未加入問題、自民党の年金加入状況の公表問題について、主に野党から質問が集中しました。これに対して、小泉首相は「事実に基づかない週刊誌の記事は遺憾である」として、「議員になる前の学生時代の未納問題にとやかく言われる筋合いはない」「議員になっての任意加入時代の未加入についても、あくまで任意加入であり、それ以前は、議員の国民年金加入は二重取りだとして、加入はできなかったこともあり、任意加入の時期は、自身の判断で加入しなかった。それをとやかく言われる筋合いはない」という発言を繰り返しました。また、自民党議員の加入状況の未公開についての「政治に対する国民の不信感を払拭する上でも、法案を出している与党の責任として公開すべき(民主・桜井議員)」、「福田官房長官も、厚生労働副大臣も、法案採決後に未納を公表するなど、口をぬぐって知らん振りし、法案を成立させる姿勢はおかしい。法案提出者の責任は重大だ。廃案か辞任を要求する(社民党・福島議員)」、「未納・未加入は個人の責任ではなく、政治責任だ。法案を出す側の自民党として、総理は自民党の総裁として、自民党議員の加入状況を明らかにすべき(共産党・小池議員)」と野党の追求に対しても、小泉首相は「うっかりミスまで責任を追及するものではない。自由民主党なんだから本人の自主的判断に任せている」とあくまで、自ら責任をとろうとしない姿勢を貫きました。

また、共産党の小池議員が衆議院での審議後に「年金給付50%を保障、国民年金保険料は上限を決める」という政府案のうたい文句はごまかしであったことがあきらかになったことを示し、「給付は最初だけで、後はどんどん下がるし、保険料は青天井に上がっていく。こんなことは国民はまだ知らぬ。国民を欺いて十分な説明をしないまま、採決に及んだことは問題だ」と追求。これに対して小泉首相、坂口厚生労働大臣は「実質賃金上昇率と物価上昇率を勘案すると**50%**維持できるのは最初だけとなるが、実際に賃金が上がっていく社会を作っていくかなくてはならない。年金は、モデルを示さないと説明しづらい側面があるのでモデルとして示したまで」とあくまで開き直りの答弁をおこないました。